

令和7年度こもれびと風おおい認定こども園 保護者アンケート結果

日頃から当園の運営・保育・教育活動において保護者の皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。年度末実施いたしました地域と繋がりながら保育の質向上に向けて保護者の皆様の意識を知り今後の運営の参考とするアンケート調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

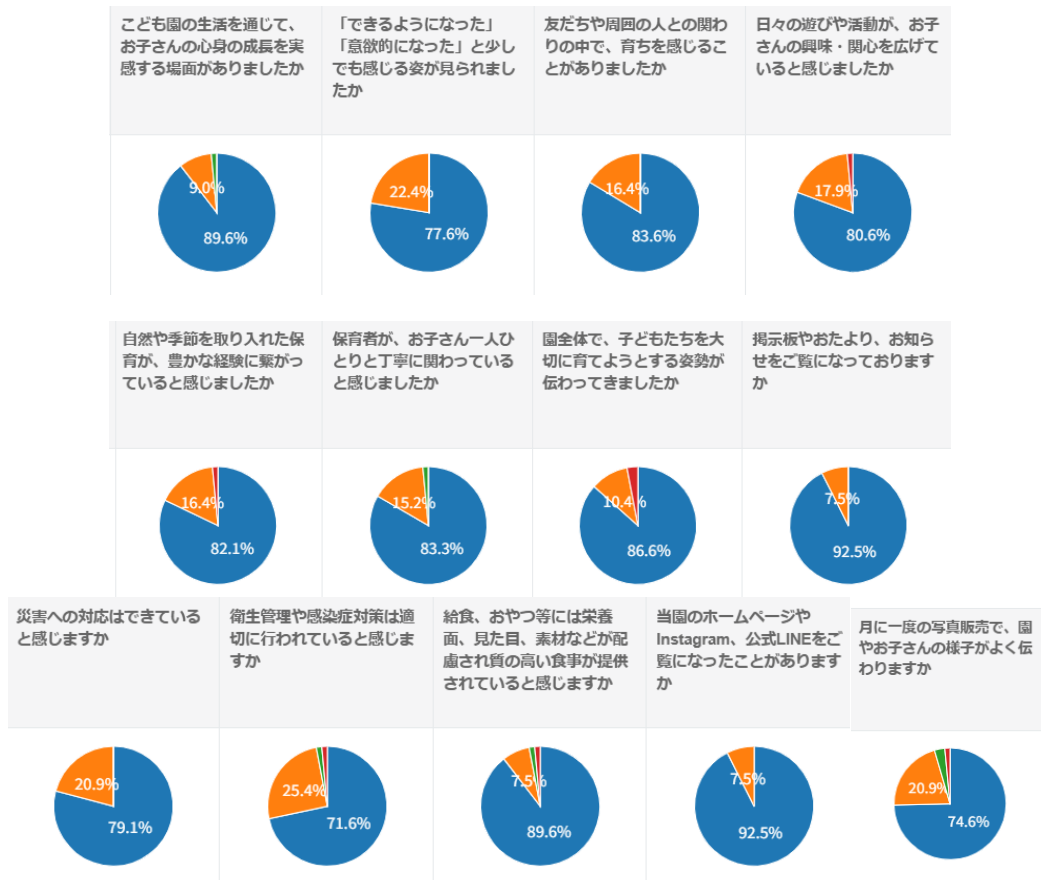
目的：お子さんの成長、当園の運営等保育の質向上に向けて参考とするため

回答方法：コドモン保護者アプリで回答

対象者：こもれびと風おおい認定こども園保護者

回答数：68人（73%）

よく感じられた 感じられた あまり感じられなかった わからない



アンケートにご回答いただきありがとうございました。

保護者の皆様からいただいた声は、全て大切に読ませていただきました。

【当園に入園して良かったところ】

- ・園で教えてもらった制作を自宅でも創意工夫して作りあげるなど、考える力がついた
- ・園での経験が家庭での楽しい会話や行事につながっている
- ・初めての保育園で最初は心配もあったが、今では預けて本当に良かったと感じている
- ・毎日とにかく楽しく通っており、一度も行きたくないとわずかに頑張れている
- ・素敵な先生方のおかげで、心も体も大きく成長できた
- ・園に関わるすべての人のおかげで、親子共に楽しく通園できている
- ・相談事に対しても親身になって対策を練ってくれるのでありがたい
- ・朝の行き渋りがなくなり、先生やお友達に会いたいという気持ちが強くなった
- ・「連休が終わったら次はいつ行くの？」と園に行くのを楽しみにしている
- ・親以外にも甘えられる存在がいることは、親にとっても大きな安心感がある
- ・保護者の役割分担が少なく、仕事や育児で忙しい家庭に寄り添ってくれている
- ・得意な時に参加できる今の活動方法が、気持ちの余裕に繋がっている
- ・入園当初は泣いていた子が、ワクワクしながら登園する姿に成長を感じる
- ・先生方がいつも温かく接してくれるので、子どもが先生を大好きになっている
- ・異年齢保育の環境があり、赤ちゃんながらも集団生活で多くの刺激を受けている
- ・みんなが可愛がってくれる心地よい環境のおかげで、スムーズに登園できている

【保育者とのコミュニケーション】

- ・おたよりや掲示板などの情報発信から園の様子が伝わっている
 - ・お迎えの時に先生方と話す時間が楽しみの一つになっている
 - ・忙しい中でも聞きたいことがある時はしっかり時間をとって対応してくれる
 - ・送迎時に担任の先生がその日のエピソードを口頭で詳しく教えてくれる
 - ・先生からの話が家庭での親子の会話のきっかけになっている
 - ・掲示板やおたより、お知らせをしっかりと確認して園の様子を把握できている
 - ・月に一度の写真販売を通じて、園での子どもの表情や様子がよく伝わる
 - ・HPやInstagramなどで活動内容を身近に感じられる
 - ・面談で話してくれた言葉が、親の心の支えや助けになっている
 - ・「できたこと」をたくさん見つけて喜んでくれ、それを共有してもらえる
 - ・生活の中の小さな気づきを、送迎のわずかな時間でも声をかけて伝えてくれる
 - ・先生たちとの何気ない挨拶や会話から、親も日々元気をもらっている
 - ・困り事がある時に気軽に相談できる雰囲気がある
 - ・先生方が子どもの性格をよく見抜いて接してくれているのが伝わる
 - ・園全体で子どもたちを大切に育てようとする姿勢が伝わってくる
 - ・写真を通じて、家では見られない園での生き生きとした姿を知ることができる
-

【こどもの育ちについて】

- ・制作を自宅でも創意工夫して作りあげるなど、考える力がついた
- ・お友達を意識して生活できるようになり、社会性の成長を感じる
- ・園で覚えてきた歌を自宅でもよく口ずさんでいる
- ・以前は恥ずかしがっていた子が、今では大きな声で歌えるようになった
- ・自分の気持ちを少しずつ家族以外の人にも出せるようになってきた
- ・子どもたちだけの社会ができてきて、親がいなくても遊べるようになった
- ・最初は泣いていた子が、自分から「行ってきます」とバイバイできるようになった
- ・人前でダンスを披露したり、手を挙げて発表したりと自信がついている
- ・自分より小さい子の手を引いたり、寝かしつけを手伝ったりと優しさが育った
- ・「できない」と諦めていたことが、練習してできるようになり自信に繋がっている
- ・文字を書く、絵を描く、折り紙を折るなどの手先を使う活動が上達した
- ・縄跳びができるようになったことを自信満々に見せてくれる
- ・季節の歌を聴かせてくれるので、親も子どもの歌で季節を感じている
- ・友達の名前をたくさん覚え、誰と何をしたか詳しく話してくれるようになった
- ・翌日の服を自分で決めたり、自ら進んで支度をしたりと自立心が芽生えた

【給食について】

- ・「給食とっても美味しいね」と親子でよく話題にのぼっている
 - ・園での完食報告が、親にとっても泣きそうになるほど嬉しい出来事になった
 - ・偏食で食べられないものが多かったが、園での声かけで挑戦できるようになった
 - ・野菜を避けてもらったり手伝ってもらったりと、個別の配慮がありがたい
 - ・「野菜は苦手だけど頑張って食べた」と本人も嬉しそうに報告してくれる
 - ・給食のおかげで、ブロッコリーなどの緑の野菜が少しずつ食べられるようになった
 - ・毎日美味しい給食をモリモリ食べて、心も体も逞しく成長している
 - ・本物の出汁の味がわかるようになり、味覚が育っていると感じる
 - ・スプーンを持って自分で食べることや、コップ飲みがいつの間にか上達した
 - ・おやつや給食の内容に栄養面、見た目、素材のこだわりが感じられる
 - ・「今日の給食は完食できたよ！」と自信を持って教えてくれる
 - ・家では食べない食材も、園の給食だと進んで食べている
 - ・素材を活かした質の高い食事が提供されていることに満足している
 - ・食後の歯磨きなどの生活習慣も、園の指導のおかげで身につけてきた
 - ・美味しい食事をみんなと一緒に食べることで、食への意欲が高まっている
-

保護者の皆様へ ～開園3年目のアンケート結果を振り返って～

開園から3年が経ち、今回の振り返りアンケートでは保護者の皆さまからたくさんの温かい声をいただきました。私たち職員一同、日々「子どもと親の育ちのサポーター」として、子育て世代に寄り添うことができた嬉しく思っています。

今回のアンケートで「毎日楽しく通えている」「連休が終わるのを心待ちにしている」といった少し微笑んでしまうようなお子さんの様子を伺い、園が子どもたちにとって安心して自分を出せる居場所になっていることが分かりました。

当園では「遊びの中で学び、探求していくこと」そして「人との関わりとつながりから学んでいくこと」を理念として掲げています。

日々の遊びの中で「これはどうなっているのだろう」と不思議に思ったり、自分なりに工夫してみたりする。そんな小さな探求の積み重ねが、子どもたちの意欲を育んでいます。

アンケートでいただいた「家でも園での遊びの続きを楽しんでいる」という話を伺うと、園での経験が子どもたちの生活の一部つながっていることが分かり、私たちも日々の保育にやりがいを感じます。

また異年齢交流も大切にしており、自分よりも小さな友だちとの関わりが当たり前の環境を整えているからこそ、自然と手を差し伸べる優しさや年上の子の姿への憧れなど「子ども同士」の関わりが育っています。

親（保護者）と保育者とのつながりにおいては、「こどもをまんなか」な考えのもと、大人が互いに信頼し、子どもの成長を喜び合い、時には悩みを分かち合えて乗り越える。そんな地続きの安心感があるからこそ、子どもたちはのびのびと自分を表現し、生きる力を広げていくことができるのだと実感しています。

今回のアンケートを通じて、私たちが掲げている想いがしっかりと子どもたちの成長と保護者との良好な関係性に繋がっていると感じ、嬉しく思うとともに、これからも「共に育ち合える温かな環境」を職員一同守り続けていきたいと思えます。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。
